

## 1. 『徳島大学病院の臨床研修プログラムの魅力』

### ▣ 徳島大学病院 初期臨床研修医 亀井優希

はじめまして。徳島大学病院初期臨床研修医1年の亀井優希です。出身は東京都ですが、徳島大学入学を機に来県し、卒業後も徳島県に残り初期研修に励んでおります。

徳島大学病院の臨床研修プログラムの魅力、といっても到底書き切れませんが、個人的に一番はその自由度です。医学部在学中の病院実習は、COVID-19流行によりその都度制限を受けてしまい、また各科原則2週間のローテーションでは正直あまりイメージの湧かないままの科も多くありました。そんなこんなで私は志望科を決められないまま初期研修先を決める時期を迎えてしまいましたが、同様の不安を抱える学生は年度に関係なく一定数いるのではないのでしょうか。

初期研修では必修科目（内科、外科、救急科、小児科、産婦人科、精神科）と選択科目があり、各病院その期間や時期は異なります。徳島大学病院の研修プログラムのうち、私が選択したAWAすだちプログラムでは、選択科目が10ヶ月と長く設定され、必修科目を回る時期も自由です。また、最大12ヶ月間は全国の協力病院での研修も可能ですし、超音波センターや公衆衛生分野等での研修も選択できます。さらっと書きましたが、他病院と比較すると（勿論各病院の良さや相性はありますが）、これはかなり恵まれていると思います。様々な分野を広く回るもよし、決めた分野を深く回るもよしです。また、徳島大学卒業生にとっては、在学時より慣れ親しみ、後期研修でも多くがお世話になるであろう大学病院で、シームレスに研修を開始・修了できるという点も大きな魅力です。

私は「ちょっと気になる」分野を、この1年次より選択科目としてかなり自由に回らせていただいておりますが、お陰様で来年には悔いなく志望科を決定できそうです。今現在も徳島県立中央病院にて研修中ですが、病院によって異なる点やたくさんの先生方とのお縁を楽しみつつ、充実した日々を送っております。

簡単な紹介となりましたが、魅力は少しでも伝わりましたでしょうか。未来の後輩が少しでも増えることを祈っております。